

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 海外実習教育の実施とその指導体制を整備する。	→海外実習機関の指導者の意見に基づく評価、海外実習レポートの内容、海外実習報告の内容。	B
2. 海外語学研修により、国際的なソーシャル・サービス領域、および起業するために必要な英語に関する語学力を修得させる。	→研修先のプログラムに基づく成績と修得単位。	B
3. 学部内における語学を専門とする専任および非常勤講師を適切に配置する。	→言語専門教員（専任、非常勤）の配置数。	B
4. 多文化共生論や国際問題論といった国際理解のための科目を維持、増加させ、内容を評価する。	→国際理解のための科目の開講と内容評価のアンケート実施。	B
5. 課外での国際活動を推進する。	→学生参加の国際的イベント（SIFEなど）への参加者数。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目 7.0.1	(現状説明) 留学制度や海外インターンシップ等国際交流に関する実習を用意し、さらに海外実習をサポートする実践教育支援室の充実も図っている。国際交流に関する方針については、ホームページやパンフレット等で明示している。
☆ 小項目 7.0.2	(現状説明) 海外からの学生の受け入れ、海外への学生派遣を毎年行うことで国際交流を適切に行っている。
☆ その他	

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

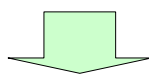
【人間福祉学部】			単位	2005	2006	2007	2008	2009	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	/	/	/	—	—		
指標2	国際交流協定締結国数		国	/	/	/	—	—		
指標3	海外からの学生の受け入れ	国 数	国	/	/	/	—	—	外国人留学生÷在籍学生数	
		外国人留学生	正規	人	/	/	/	8		13
			交換	人	/	/	/	0		0
		外国人留学生 在籍学生比率	正規	%	/	/	/	2.5		2.1
			交換	%	/	/	/	0.0		0.0
その他 (セミナー等による受け入れ)	人	/	/	/	—	—				
指標4	海外への学生の派遣	国 数	国	/	/	/	—	—	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数	
		人 数	長期	人	/	/	/	0		11
			短期	人	/	/	/	0		10
		在籍学生比率	長期	%	/	/	/	0.0		1.8
短期	%		/	/	/	0.0	1.6			
指標5	人的国際学術研究交流 (受け入れ教員数)	長期	人	/	/	/	0	0		
		短期	人	/	/	/	0	0		
指標6	人的国際学術研究交流 (派遣教員数)	長期	人	/	/	/	1	1		
		短期	人	/	/	/	43	55		
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	/	/	/	—	0		

注) 正規、交換について
 正規とは学位取得目的、交換は正規以外とする。
 注) 長期、短期について
 指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。
 指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目7.0.1	国際化、多文化に興味・関心を抱く学生は増加している。
☆ 小項目7.0.2	
その他	



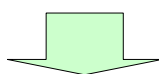
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目7.0.1	
☆ 小項目7.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目7.0.1	
☆ 小項目7.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目7.0.1	
☆ 小項目7.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○「海外実習教育」の取り組みはユニークなものとして評価できます。また、語学研修や国際理解にも目を向けており優れています。今後積極的に推進されることが望まれます。

【学内委員】

○小項目7.0.1の説明においては、まず(方針)として、方針そのものを記述してから、現状説明してください。

○小項目7.0.1の現状説明は、小項目7.0.2での説明だと思います。

○現状説明などの記述は明確です。

○小項目7.0.2の現状説明において、適切に行っている根拠を示して説明されることが望まれます。

○海外への学生派遣の実態について説明をしてください。

○効果が上がっている事項の小項目7.0.1において、増加している数値をお示しくください。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、小項目についてももう少し詳しく現状説明されることを希望します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目7.0.1(方針)

★ 国際的水準で解決策を考えられる行動・態度(国際性)を要する人材を育成する。2009年度より社会起業学科生を対象にカナダのクィーンズ大学にて海外語学研修を実施している。2009年度は当該学生の13.4%、2010年度は14.7%の参加者があり、増加傾向にある。また海外インターンシップ演習の履修者も昨年度の9名から本年度は13名に増え、増加傾向にある。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

7.0.0.S1	協定校と相互交流数(学生・教員)
7.0.0.S2	国別国際交流協定締結先機関数
7.0.0.S3	人的国際学術交流数

<個別的な指標>
